

開発建設部



石垣港みなとまつり



港クルージング

石垣港みなとまつりは、毎年「海の日」にちなんで、港クルージングやヨットセーリング及びライブ演奏等を通して、多くの方々に日本最南端の重要港湾である石垣港の役割を深く理解してもらうと共に、「みなと」の賑わいを体験してもらい、石垣港の更なる活性化に資する目的で開催しています。今年は「海の日」の前日の七月十八日（日曜日）に離島桟橋に於いて行いました。

石垣港みなとまつりは昼の部と夜の部があり、昼の部は「みなとウォッチング」と題して石垣港湾事務所、石垣市港湾課、八重山ヨットクラブによる小学生を対象とした旅客船による港クルージング、ヨット体験セーリング、石垣港パネル展及びみなとのクイズコーナーを催しました。また夜の部は「みなとのタベ」と題して港通りが中心となり、旅客船の甲板を舞台にしたライブ演奏や各種出店も設け、大勢の親子連れなど市民・観光客で賑わいました。



ヨットセーリング

1 港クルージングについて

定期旅客船のサザンドリーム号で所要時間一時三十分のクルージングを二回行いました。事前応募の二百四十名の小学生などが乗船し、港内や竹富島周辺を巡りながら石垣港の施設紹介や役割に関する説明を行いました。クルージング参加者の感想をいくつか紹介します。サザンゲートブリッジの下をくぐれて楽しかった。石垣港を海から見てすばらしく発展している事に気づきました。夏休みのスタートに乗船でき、いい思い出になりました。

2 ヨット体験セーリングについて

所要時間二時間のセーリングを二回行い、事前応募の小学生など五十名が六艇のヨットに乗船し、港内を体験セーリングしました。ヨットセーリング参加者の感想をいくつか紹介します。ヨットの操縦をさせてもらって、楽しかった。ヨットは風の力で進むという事を体で

3 石垣港パネル展について

ここでは石垣港の役割や過去、現在、未来を昔の貴重な写真も織り交ぜながらパネルにて紹介しました。また、港湾工事に伴い移植したサンゴの状況等も展示し、周辺環境に対する保全措置の紹介を行いました。パネル展にはイベント参加者の小学生はもとより、乗船待ちの市民や観光客も訪れ、石垣港の将来計画についての質問が多く出ていました。

実感した。魚などが見れて良かった。ヨットが傾いて自分が落ちそうになっただけ、楽しかった。



石垣港パネル展

4 石垣港みなとまつりクイズについて

石垣港について少しでも関心を持ってもらうため、パネル展示場の隣にコーナーを設けクイズを出題し、正解された方には景品を差し上げました。

夜の部の「みなとのタベ」

夜の部は「みなとのタベ」と題して、桟橋に停泊している旅客船のデッキをステージにアフリカン太鼓やジャズ演奏、「やいま」でお馴染みの石垣出身のミヤギマールさんや同じく地元出身で早弾き三味線の名手川門正彦さん等のミニライブが行われ、岸壁に陣どりビールを片手に或いは食事をしながらの観客を楽しませ、離島桟橋周辺に集まった多くの市民や観光客が港の雰囲気を楽しんでいました。

「みなとまつり」をきっかけに日本最南端の重要港湾である、石垣港について一つでも多く、ご理解をしていただければ幸いです。



石垣港みなとまつりクイズ



港クルージング